

特55  
30



安心法語

No. 6640/23



大法藏因位の昔の五劫思惟に扉を閉ぢ  
彌陀正覺の曉に十方攝化の門戸を開き  
弘願ますます深く深廣にして得益いよく盛

なり我等何の幸ぞや萬劫にも受難き人身  
を受億劫にも逢ひがたき本願に逢ひ特に  
又難信の大悲一向專修の行者に成て今回  
速に報土往生は本懷を遂る事の多生曠劫

の悦び也元祖大師の曰く南無阿彌陀佛と  
いふ別したる事は思ふべし阿彌  
陀は我を助給へといふ言葉と心得  
て心に阿彌陀は助給へと思ひて

口は南無阿彌陀佛と唱ふるは三心具足の  
名號と申かりとあれ我宗安心起行の眼目  
なり尚と悉くハ大師の御遺訓一枚起請  
文に載せられたり若しこれに背けば三悪

の苦患遁れ難く此れに順ふときハ極樂の  
往生是ハなりとて代々相承の趣なり今此

いふに別したる事には思ふべし阿彌陀  
陀ほとけ我を助給へといふ言葉と心得  
て心にも阿彌陀ほとけ助け給へと思ひて

口は南無阿彌陀佛と唱ふるは三心具足の  
名號と申なりとあれ我宗安心起行の眼目  
なり尚と悉くハ大師の御遺訓一枚起請  
文は載せらるる若しこれ又背けば三悪

の苦患遁れ難く此れに順ふるときは極樂の  
往生疑ひなきを代々相承の趣なり今此  
世界ハ暫しの假の宿りあれハ何事も忍び  
堪へて寐ても寤ても口はまうせり只南無

阿彌陀佛と申をべし

浄土宗總本山法主

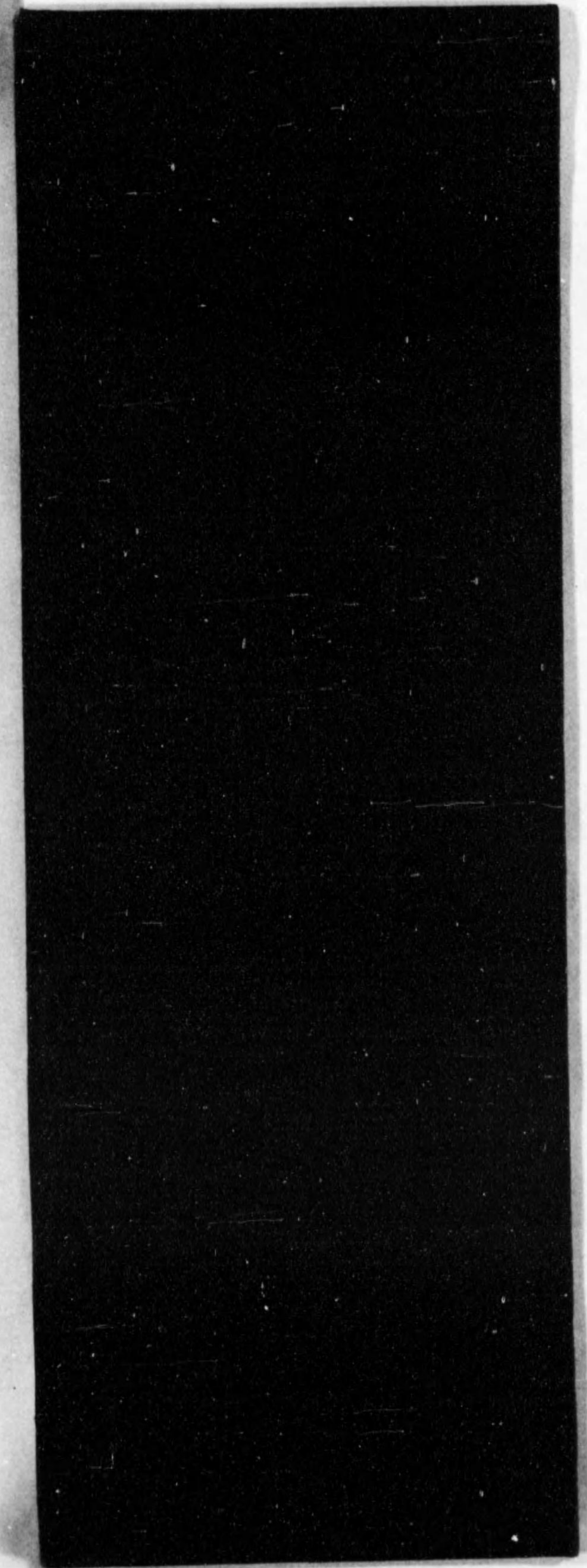
大教正養鷗徹定撰

明治二十三年十一月五日印刷

明治二十三年十一月十日翻刻出版

東京市深川区御舟藏前町土番地

印刷者 西光寺 端山海定



特55

930

法語

全

017349-000-4

特55-930

安心法語

養鷗 徹定 / 著

M23.11

ABF-0036

